

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館施設維持管理				整理番号	846		枝番号			
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	841	
係名				管理係				上位施策名		No		
予算事業名				図書館維持管理		コード	83100		図書館サービスの充実		63	
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		57 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第2項					
	図書館利用者						(2) 図書館法第2条、第3条、第10条					
	図書館利用者						(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				図書館の施設維持管理、電子計算機の維持管理を通じて、図書館利用者の利便性の向上を図る。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
活動指標名(式)				(1) 図書館年間開館日数(全館累計)		(2) ホームページ稼働日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
								(1) 図書館年間利用者数				
								(2) ホームページアクセス件数				
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績	計画		22年度			
指標	活動指標(1)		日	3,230	3,266	3,630	3,643	3,984		4,648	78.4	
	活動指標(2)		日	365	365	365	365	365		365	100.0	
	成果指標(1)		人	2,637,658	2,503,274	2,750,000	2,571,163	2,672,000		2,994,000	85.9	
	成果指標(2)		件	477,890	625,436	650,000	713,588	764,000		998,000	71.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	338,980	339,557	462,069	380,759	529,461		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	357	845				
	(内) 委託費		千円	16,175	107,359	186,497	275,000	414,098				
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.44 0.00	5.56 0.00	5.20 0.00	5.10 0.30	7.60 0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	30,939	50,596	47,112	46,206	68,856			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	867	1,445			
	総事業費 + +		千円	369,919	390,153	509,181	427,832	599,762				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	114,526	119,459	140,270	117,341	150,331				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	369,919	390,153	509,181	427,832	599,762					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		光熱水費				12	館	65,726				
		図書館システム機器等賃貸借				1	年	139,871				
		清掃等委託				12	館	56,946				
		建物保守・機械警備委託				12	館	33,132				
その他		(維持管理用需用費、修繕費、工事費 等)				12	館	85,084				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.4	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	82.4
平成17年11月に方南図書館が開設したこと。 中央図書館建物総合管理委託で落札差金・設計差金が生じたこと、また節電等による光熱水費に実績残が生じたこと。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
新図書館システム構築のための業者選定及び設計に係る契約を行った。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・開設時の運営日は、毎週1日の休館日、月1日の館内整理日、年末年始(12月28日～1月4日)を除く日であった。平成15年度に年末を12月30日までとし、16年度に中央図書館、17年度から全館での通年開館化により、休館日を月1日とした。 ・平成13年度に図書館ホームページ開設、14年度にインターネット予約サービス開始、16年度に携帯電話予約サービスを開始した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・利用者用インターネットPCの設置。 ・ホームページを使ったサービスの充実				
	今後の予測	・平成19年3月に新図書館システムが稼動することに伴い、利用者へのサービス向上につながる。 ・平成19年度に予定されている指定管理者による運営により、コスト削減が望める。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: ・施設維持を適正に行うことで、安心・快適な施設利用が可能となる。 ・インターネットの充実により、24時間365日のサービスを行っている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度を導入することにより、施設維持管理に係る経費の抑制が図れる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 公共図書館では、図書館利用に対しては無料の利用となっているため。(図書館法第17条)				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 指定管理者制度の導入により、事業費・人件費の抑制が図れる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 施設保守等、施設維持管理については、業者への委託により実施している。 また、平成19年3月からは図書館システムの運営を外部委託により実施する。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年3月に新システムを稼動することにより、利用者サービスが向上するとともに、システム運営に係るコストが大幅に削減できる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新システム稼動後は、業者による運営のため、システムへの要望、トラブル対応などへの迅速な対応に対する懸念が生じる。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	指定管理者による図書館運営を行うため、指定管理者を導入する地域図書館の経費が抑制できる。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営奉仕活動				整理番号	847		枝番号						
担当部課名	中央図書館			コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	842					
係名 企画サービス統括担当					上位施策名					No					
予算事業名 図書館運営管理					コード	82360		図書館サービスの充実			63				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第2項										
	図書館利用者				(2) 図書館法第2条、第3条、第10条										
	図書館利用者				(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
図書資料の貸出、調査相談に対応したレファレンス業務、リクエストサービス、都立等他の公立図書館との相互貸出、学校等への団体貸出を行う。また、映画会やお話を開催し、幅広い世代の利用者を対象に図書館サービスを提供している。					図書館サービスの向上と充実を図ることにより、図書館利用者の更なる拡大と増加を促す。										
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 図書館年間開館日数(全12館総累計)					(1) 図書館年間利用者数(全12館総累計)										
(2) 図書館利用者登録者数(累計)					(2) 年間貸出冊数(全12館総累計)										
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画	実績	計画		22年度				
指標	活動指標(1)		日	3,230		3,266		3,630	3,643		3,960	4,290	84.9		
	活動指標(2)		人	125,031		123,796		130,000	116,075		120,000	135,000	86.0		
	成果指標(1)		人	2,637,658		2,503,274		2,750,000	2,575,802		2,672,000	2,994,000	86.0		
	成果指標(2)		冊	3,890,916		3,617,904		4,000,000	4,201,585		4,260,000	5,988,000	70.2		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,858		24,365		43,288	32,388		41,724	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0	0		0				
	(内)委託費		千円	423		681		1,373	0		250				
	職員数(常勤 非常勤)		人	132.80	35.58	125.33	35.80	105.30	42.80	110.50	49.00			94.20	43.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,194,403		1,140,503		954,018	1,001,130				853,452	
		非常勤職員分		千円	98,165		103,104		123,692	141,610				124,270	
	総事業費 + +		千円	1,317,426		1,267,972		1,120,998	1,175,128		1,019,446				
	単位あたりコスト(-)÷		円	407,872		388,234		308,815	322,572		257,436				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0	0				0	
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0	0				0	
特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0					
差引:一般財源 -		千円	1,317,426		1,267,972		1,120,998	1,175,128		1,019,446					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)						
		図書館運営管理					12	館	23,986						
		貸出業務経費					12	館	5,381						
		ホームページ閲覧用パソコン維持費					1	館	2,134						
		図書館活動					12	館	887						
		その他 ()							0						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.4	活動指標(2)の17年度達成率%	89.3	17年度予算執行率%	74.8
行事实施等において、職員の創意工夫で対応するなど極力経費削減に努めた。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・中央図書館業務民間委託に伴う経費削減が図れた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・リクエストサービスについては、インターネットサービスの実施によって年々増加している。 ・未整備地域図書館として「方南図書館」が開館し全館12館となった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・開館時間の延長 ・貸出冊数の制限撤廃と貸出期間の延長 ・学習スペースの確保				
	今後の予測	・図書館未整備地域における図書館建設と代替措置としてのサービスコーナー等の設置 ・インターネットによるリクエスト件数の増加				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼		理由: 子どもの感性を磨き、表現力を高めて想像力を豊かにする。また、高齢者の生涯学習の支援など、あらゆる世代の区民を対象に図書館が果たしている役割は大きい。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) ▼ 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容) ▼		理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 運営の一部又は全部を民間や法人等に委託することで、効率的な運営が可能となる。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼		理由または具体的内容: 図書館法第17条により、公立図書館において無料であることが規定されている。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容) ▼		理由または具体的内容: 運営の一部又は全部を民間や法人等に委託することで、人件費が抑制される。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) ▼		協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) ▼		協働等による成果と課題 ・人件費が抑制され、運営が効率化された。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容) ▼					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・利用者のニーズに対応すべく、民間業者の創意工夫を活かした個性ある図書館づくりを進めるため、地域図書館運営に指定管理者制度を導入していく。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・利用者のニーズの高度化への対応 ・民間業者との連絡調整						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	地域図書館の一部に指定管理者制度が導入されるため。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館建設				整理番号	848		枝番号		
担当部課名 中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	843		
係名 地域図書館開設準備担当					上位施策名				No		
予算事業名 図書館建設					コード	83250		図書館サービスの充実			63
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 図書館法						
	主に、図書館未整備地域の区民、保育園、小中学校				(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律						
					(3) 杉並区立図書館条例						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
杉並区基本計画に基づき、図書館未整備地域に地域図書館を建設、整備する。平成17年8月方南図書館竣工 平成17年11月 方南図書館開館 平成17年度 (仮称)西荻地域図書館設計 平成18~19年度 (仮称)西荻地域図書館建設工事 平成19年度 (仮称)西荻地域図書館 開館予定					未整備地域に図書館を建設することにより、区民や小・中学校等団体での利用が容易になる。また、図書館への来館が容易になることにより、利用者が図書資料等に対する相談や要望を直接しやすくなる。区全体の蔵書規模が拡大することによって、図書資料が充実し利用者の資料に対する選択の幅が拡充する。						
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 図書館整備数(累計)					(1) 図書館整備率(整備数 ÷ 目標値)						
(2)					(2)						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	館	11	11	12	12	12	14	85.7		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	79	79	86	86	86	100	86.0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	11,935	163,744	249,404	240,817	285,003	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等	千円	0	125,581	149,377	151,166	211,009				
	(内)委託費	千円	4,267	0	14,237	11,700	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.68 0.00	1.67 0.00	1.60 0.00	1.90 0.00	1.80 0.00				
	人件費	千円	15,110	15,197	14,496	17,214	16,308				
	常勤職員分(超勤分含む)	千円									
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	27,045	178,941	263,900	258,031	301,311				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	2,458,636	4,850,909	9,543,583	8,905,417	7,525,167				
	財源	千円									
受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0					
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -	千円	27,045	178,941	263,900	258,031	301,311					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	方南図書館 建設 開館				1	館	229,370				
	(仮称)西荻地域図書館 設計				1	館	11,447				
	その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	96.6
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	方南図書館については、平成16～17年度に建設工事を行い、平成17年8月に竣工した。前年度に引き続き図書資料の購入を行い、新たに備品類を購入、整備し平成17年11月に開館した。 (仮称)西荻地域図書館については、平成17年度建設予定地において住民説明会を行い、建設設計委託を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区基本計画に基づき1地域に2館、区内に14館の図書館整備を予定している。現在12館まで整備を完了し、未整備地域の2地域に図書館建設を計画的に進めている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	(仮称)西荻地域図書館の建設にあたり、旧社会教育会館の学習室継続利用の要望が多かったため、図書館の閲覧スペースを増加して設計した。また、旧社会教育会館多目的ホールの継続利用の要望も高いため、併設のゆうゆう今川館の中に多目的ホールの設備を取り入れて設計を行った。				
	今後の予測	地域に2館整備されていない未整備地域に、地域図書館2館を建設、整備する。平成19年度には西荻地域に新たな図書館を開館し、残りは高円寺地域の1館になる見込み。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 図書館未整備地域に新たに建設・整備することにより、図書館の利用機会を増やすとともに、利用者に対し様々な図書館サービスを提供することができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 建設については、設計・建築工事等について既に民間事業者へ委託し実施している。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区立図書館の建設事業であり、図書館法の趣旨から利用者負担は困難である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 従来の方法に固執することなく、安全で経済的な設計、建設方法を検討する必要がある。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	設計・工事とも民間事業者へ委託している。開館準備及び運営について、民間事業者に委託する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 未整備地域の西荻地域には、平成18～19年に建設工事を行い、平成19年度に(仮称)西荻地域図書館の開館を予定している。残る1地域については、新設館の用地確保を計画的に行う。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由 (仮称)西荻地域図書館について、平成18年から引き続き建設工事を行い、建物を竣工する。図書、備品類を整備し、13館目の地域図書館として開館する予定。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大学図書館との連携				整理番号	849		枝番号					
担当部課名	中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	844				
係名	情報化・連絡担当				上位施策名				No					
予算事業名	図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実				63				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 16年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区立図書館及び杉並区内大学・短期大学図書館の相互協力に関する協定書									
	区民図書館利用者				(2)									
	区民図書館利用者				(3)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
生涯学習の推進及び大学・短期大学の教育・研究の推進に寄与することを目的に、杉並区立図書館と協定館が相互に協力しあうとともに、協定館が所有する資料の閲覧、館外貸出し、協定館が実施する事業や行事への参加を通じて、区民の生涯学習活動を支援する。				区立図書館と協定大学図書館との協力が両者のサービス向上に発展し、より充実した資料や情報を区民が受けられ、生涯学習に役立つ。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 杉並区図書館ネットワーク会議				(1) 大学図書館区民の館内閲覧者数										
(2)				(2)										
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画		実績								
指標	活動指標(1)	回		7		4		4		4	100.0			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)	人		383		580		825		1,000	1,200	68.8		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円		422		310		335		310		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円		0		0		0		0				
	(内)委託費	千円		0		0		0		0				
	職員数(常勤 非常勤)	人			0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.20		0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円		0		1,820		2,718		2,718		1,812	
		非常勤職員分	千円		0		0		0		0		0	
	総事業費 + +	千円		0		2,242		3,028		3,053			2,122	
	単位あたりコスト(-)÷	円		320,286		757,000		763,250		530,500				
	財源	受益者負担分	千円		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金	千円		0		0		0		0			
特定財源計 +		千円		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円		0		2,242		3,028		3,053		2,122		
受益者負担比率 ÷	%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み	内 容				規模				単位	事業費(千円)				
	大学図書館とのネットワーク充実に向けた検討				4				回	180				
	大学図書館と区立図書館と連携した講演会の実施(委託等)				1				回	155				
	その他 ()									0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	108.1
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	連携実施に際し、講演会において当初計画規模が微増した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	大学図書館のWEB OPACを活用した蔵書検索横断システムの導入と東京女子大学の参入は実現できなかった。また、大学図書館と連携して10月に「絵本の世界を語る」をテーマにした対談事業を実施し、父母ら約50人(定員)に「絵本の役割の大切さ」について関心を与えることができた。(17年10月2日付け読売新聞掲載)絵本展示会「なかやみわ”絵本の世界”」を中央館で同時開催し、利用者への啓発に努めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	今年度は事業開始から3年目に入るが、単なる大学図書館の利用案内に留めず、大学の専門的知識・情報を生かした取り組みについて検討するなど、区民にとって幅広い提携成果の提供を目指す方向性が出てきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区内大学図書館の資料を活用できることに、区民からは概ね好評をいただいているが、連携協定時に当面参加は見合わせる旨意思表示のあった東京女子大学についても、連携を望む声が区民から寄せられている。				
	今後の予測	大学図書館の図書資料を検索できるWEB蔵書検索横断システムの導入や、相互の施設を利用した講演やイベントの開催、学生ボランティアを組織して図書館事業に協力を要請するなど多様な連携成果が期待できる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が区立図書館には無い各大学図書館の専門的な図書資料が活用できるようになり、区民が行う調査・研究活動を更に支援できる体制が整えられた。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 連携大学の教授や助教授、講師の協力を得た講演会の開催等により、区民の知的欲求に応えることが出来る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 大学連携による成果の提供については、図書館法17条の無料の原則適用外の部分も有ると思われる。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在は、最小事業の範囲で予算計上をしており、成果の拡大を図る上では一定の事業費増が必要となるため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 杉並区図書館ネットワーク会議の協力で講演会等を実施する。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各大学との十分な協議・検討が必要であるが、オンラインで区立図書館と区内大学図書館の蔵書検索を可能とする他、大学の人材を活用した定期的な講演会の実施を行う。また、現在は参加していない東京女子大学の参入をはかり、杉並区図書館ネットワークの基盤整備をする。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 提携の成果を最大に発揮するためには、参加している全大学の協力が必要であり、図書資料の閲覧、貸出し以外の部分での協力が得られるか現在不明である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	講演会の開催について実施の方向で事業を推進するため、講師謝礼等で事業費増が見込まれる。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館協議会運営				整理番号	850		枝番号		
担当部課名	中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	845	
係名	管理係		上位施策名						No		
予算事業名	図書館運営管理		コード	82360		図書館サービスの充実				63	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第2項						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区立図書館の運営に関し、中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕に対して意見を述べる。		(2) 図書館法第14条						
	活動指標名(式)		(1) 開催予定回数 (2) 議題数		(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則						
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		中央図書館長の諮問については、区として必要な情報提供などに努め、適切な答申を出していただく。 また、区立図書館の経営に対する客観的な提言や図書館サービスに対する積極的かつ建設的な意見を述べていただく。									
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 開催回数 (2) 議題数									

区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	回	6	5	5	4	5	5	6	66.7			
	活動指標(2)	本	25	16	20	12	15	18	66.7				
	成果指標(1)	回	6	5	5	4	5	6	66.7				
	成果指標(2)	本	25	16	20	12	15	18	66.7				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	516	480	540	445	724	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0						
	(内)委託費	千円	0	0	0	13	16						
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.25 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,249	1,820	1,812	1,812	1,812					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	2,765	2,300	2,352	2,257	2,536						
	単位あたりコスト(-)÷	円	460,833	460,000	470,400	564,250	507,200						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0					
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	2,765	2,300	2,352	2,257	2,536						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	図書館協議会開催に伴う委員報酬		10	名	432
	図書館協議会開催に伴う託児委託		3	回	13
	その他	()			0

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	80.0	活動指標(2)の17年度達成率%	60.0	17年度予算執行率%	82.4
		図書館の運営形態など、さまざまな経営改革を進めるため、局内の意思決定等に時間を要したため、開催回数等に減が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年7月に委員を9名から定数枠上限の10名で開催 図書館の経営改革を進めるため、平成19年度以降に地域図書館において指定管理者を導入する。それらの改革に対する評価を図書館協議会で行うため、平成18年度9月末の図書館協議会の改編時期に合わせ、条例改正を行い、委員定数枠を最大で15名とする。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	発足当初、図書館のサービス等の協議が中心であったが、現在は、情報化・CS(住民満足度)等新たなニーズに対する図書館サービス展開や図書館運営のあり方等についての協議・検討が中心となってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。					
	今後の予測	今後、図書館の経営改革が進む中、民との協働による図書館運営が主体となることが予想される。そうした状況において、図書館協議会による客観的な協働に対する評価は重要であり、図書館協議会の存在意義は高まる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 学識経験者など、様々な委員の見地から意見をいただくことは、図書館運営に大変参考になっている。また、18年度の改編後においては、その役割は増大するものと思われる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 議案や資料についてメール等の手段を用いて連絡を密にとるなどし、委員との情報の共有化を進め、会議の活性化を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 委員報酬は、「杉並区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例」で定められており、見直し余地はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委員報酬は、条例で定められており、見直し余地はない。また、今後図書館協議会おける役割が増すことにより、開催数、委員数についても増が予想されるため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 将来的には、図書館運営に指定管理者の導入を行い、民との協働を一層推進していくため、協働に対する客観的な評価を館長へ提言するなど、役割は増えていく。また、納税者の声も聞けるよう、委員に公募区民を割り当てる。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年9月の改編時期に合わせ、条例改正を行い委員定数増を図る。新たな委員構成として、公募区民等を加える。また、今後区立図書館において実施する自己評価に対し、図書館協議会の評価を提言し、区立図書館運営に活かしていく。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委員増及び新たな役割の付与により、開催、審議方法においての調整に困難が予想される。極力メール等を活用し、事前の情報の共有化を図り、事前の意見の取りまとめ等に努め、審議を円滑に進めていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 新たな図書館協議会の役割としての区立図書館に対する評価機能を充実させるため、図書館運営の施策形成過程からの審議・提言などを行うことにより、図書館協議会開催回数の増が予想される。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		閲覧用図書の収集及び装備				整理番号	851		枝番号			
担当部課名	中央図書館			コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	846		
係名 企画サービス統括担当					上位施策名				No			
予算事業名 図書館運営管理					コード	82360		図書館サービスの充実		63		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第2項							
	図書等資料				(2) 図書館法第2条、第3条、第10条							
	図書等資料				(3) 杉並区立図書館条例、同運営規則							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 利用者の学習・文化要求に応えるため、図書資料を幅広く豊富に収集する。 また、この資料が長期に渡り利用されるように装備を行う。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 幅広い分野の資料を収集・保存することにより、利用者が必要とする図書資料・情報を入手することができる。							
活動指標名(式) (1) 閲覧図書の収集(購入冊数 + 受贈冊数) (2) 購入タイトル数					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 全蔵書冊数 ÷ 利用者数 (2) 当該年度出版タイトル数 ÷ 購入タイトル数							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		冊	91,496	98,220	96,862		131,423	140,000	147,000	89.4	
	活動指標(2)		件	21,446	22,538	24,000		28,789	30,000	30,000	96.0	
	成果指標(1)		冊	15.45	15.59			17.72	18	20	88.6	
	成果指標(2)		%	28.40	33.50			37.37	40	40	93.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	195,271	196,588	206,204		201,933	213,860	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0		0	0			
	(内) 委託費		千円	22,726	27,772	30,418		28,217	1,596			
	職員数(常勤 非常勤)		人	21.39 1.00	21.96 0.00	17.00 0.00		25.33 1.00	25.50 1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	192,382	199,836	154,020		229,490			231,030
		非常勤職員分		千円	2,759	0	0		2,890			2,890
	総事業費 + +		千円	390,412	396,424	360,224		434,313	447,780			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	4,267	4,036	3,719		3,305	3,198			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0		0	0				
差引: 一般財源 -		千円	390,412	396,424	360,224		434,313	447,780				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			閲覧用図書の購入					126,391	冊	173,716		
			図書装備委託					97,084	冊	28,217		
			その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	135.7	活動指標(2)の17年度達成率%	120.0	17年度予算執行率%	97.9
		収集及び保存(装備)においては、いずれも目標を達成している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		図書購入と装備のあり方、作業手順の見直しを検討した結果、図書を装備込みの購入として、平成18年度予算計上した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年間の出版点数の大幅な増加で資料収集の対象が増大しているため、収集できるタイトル数の割合は伸び悩んでいる。収集図書の装備については、平成13年度からその一部を委託していたが、18年度から図書を装備込みで購入する方式も実施した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	新刊本の購入冊数増やリクエストの多い図書の冊数増に対する要望が多く寄せられている。					
	今後の予測	・出版物のタイトル数は、過去10年間で50%以上増加している。こうした中、辞書や百科事典等の一部は電子出版物としてCD-ROMやDVDで出版されており、本のデジタル化は、増加傾向にある。 ・図書購入に際し、市場での物流が改善され、図書の発注から配架までの時間が迅速化される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:成果指標の数値は十分とは言えないが、選書は勿論のこと、リクエスト対応にも力を入れている。また装備をすることにより多くの区民の使用や長期保存に耐える資料となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:図書を装備込みでの購入に切り替え人件費及び装備費の削減を図り、資料の購入費率を上げる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担については、図書館法第17条により、公立図書館においては無料と規定されている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:図書の購入と装備方法の見直し。					
	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 図書資料の装備を民間事業者に委託して実施しているが、人件費及び装備費の更なる削減を図り、資料の購入費率を上げるよう努めている。						
(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・図書館の委託化を見据え、図書資料購入方法や作業手順の見直しを継続的にを行い、図書購入と装備のあり方を抜本的に見直し事務の効率化を図る。 ・今後の資料収集については、資料のデジタル化についても視野に入れ、利用者利用インターネットPCの導入に伴う電子化への対応も積極的に行っていく。 ・収集方針を定め、各図書館の地域性を活かすとともに、生涯現役としての区民の自立を支援できる図書の収集を図る。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在見直しを進めている収集方針とともに、購入計画の確立を図り、デジタル資料も含めた幅広い資料集を実施する。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	収集計画に基づき、各館に応じた重点収集や分担収集を実施し、タイトル数の確保と特色ある図書館の資料の収集に努める。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者・高齢者に対する図書館サービスの提供				整理番号	852		枝番号						
担当部課名 中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	847						
係名 企画サービス担当(障害者サービス担当)					上位施策名			No							
予算事業名 図書館運営管理					コード	82360		図書館サービスの充実			63				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業										
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 目や身体が不自由な方、高齢者				(1) 杉並区立図書館条例、同運営規則 (2) 杉並区立図書館対面朗読実施要領 (3) 杉並区立中央図書館点字資料・録音資料貸出実施要領										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) ・視覚障害者に対して、対面朗読の提供、録音図書、録音雑誌、点字図書、拡大写本の貸出しをおこなう。 ・図書館への来館が困難な障害者・高齢者に対し、郵送による図書館資料の貸出しをおこなう。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 目や身体が不自由な方や高齢者の方々が、一般の方々と同様に図書館サービスを受けられる。										
	活動指標名(式) (1) 対面朗読実施時間数 (2) 録音図書、録音雑誌貸出し件数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 対面朗読利用者数 (2) 録音図書利用者数										
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画	実績							
指標	活動指標(1)		時間	858		848		1,000	814	1,000		1,200	67.8		
	活動指標(2)		巻	15,918		14,060		18,000	15,415	18,000		21,600	71.4		
	成果指標(1)		人	429		426		550	407	550		660	61.7		
	成果指標(2)		人	2,838		2,524		3,000	2,885	3,000		3,600	80.1		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,063		1,983		2,842	1,855	2,884		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0	0	0					
	(内)委託費		千円	0		0		0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.40	0.00	1.13	0.20	1.00	0.20	1.15	0.20			1.50	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	12,592		10,283		9,060	10,419	13,590				
		非常勤職員分		千円	0		576		578	578	0				
	総事業費 ++		千円	14,655		12,842		12,480	12,852	16,474					
	単位あたりコスト(-)÷		円	17,080		15,144		12,480	15,789	16,474					
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	14,655		12,842		12,480	12,852	16,474						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			対面朗読サービス、録音テープ製作(謝礼)					814	時間	1,072					
			点字情報システムリース					1	セット	383					
			その他 (テープ購入、拡大写本製作等消耗品)							400					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	81.4	活動指標(2)の17年度達成率%	85.6	17年度予算執行率%	65.3
		対面朗読者数をはじめとする障害者サービス利用が伸びなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		障害者サービス全般にわたる利用者増に向けて、新しい録音媒体の導入や方式を含めて、利用者の志向や動向について見極める必要がある。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	図書館障害者サービス登録者、平成17年度末(323人)。しかし、実際の利用者は約70人。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者の自宅で行う対面朗読サービスや、高齢者等の来館困難者に対する図書資料郵送サービスなど、きめ細かなサービスが求められている。					
	今後の予測	19年度より、点字資料や音訳資料が電算システムに登録される。目や身体の不自由な方へのサービスの他に、高齢による来館困難者に対するサービスを具体化する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	目や身体の不自由な方や高齢者に対して、読書等の機会を提供することに寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 19年度より、電算システムに点字資料、録音資料が登録され、資料貸出し申請も可能になる。長年更新していないパンフレット等を更新し、障害者サービスPRを強化。関連各課、関連団体に対して呼びかけ、連携の強化。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	図書館法第17条の規定(対価徴収の禁止)					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: ボランティア等協力者との連携強化など、協働を推進する。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	対面朗読サービス、音訳図書製作、拡大写本製作をボランティア団体や個人に協力いただいている。さらに、そのボランティア育成についても受入れ依頼をしている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新規利用登録者の増、新しい資料の購入、関係団体との連携強化、障害者向け図書資料の電算化を図る。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 サービスへの要望が多様化する中、資料の充実とボランティア協力者等の人材確保が重要な課題となる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 目や身体の不自由な方を中心にサービスを展開しているが、高齢等の理由で来館困難者に対する資料の宅配など、新たなサービスを具体化し、実施する。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域・家庭文庫の育成				整理番号	853		枝番号				
担当部課名 中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	848				
係名 協働推進担当					上位施策名			No					
予算事業名 図書館運営管理					コード	82360		図書館サービスの充実			63		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 52 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区立図書館運営規則								
	区内で活動する地域・家庭文庫				(2) 杉並区地域・家庭文庫への支援に関する取扱要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 地域・家庭文庫の活動を支援するため図書を貸与している。				(3)								
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
(1) 助成対象文庫数				図書を貸与することにより、地域・家庭文庫が地域の住民に豊富な図書を提供することができる。									
(2) 文庫開催回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
				(1) 文庫利用者数									
				(2) 文庫図書利用冊数									
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	団体	9		8		9		9		9	100.0	
	活動指標(2)	人	303		277		280		312		320	91.8	
	成果指標(1)	人	5,196		5,351		5,400		5,046		5,200	95.2	
	成果指標(2)	冊	8,280		9,547		9,600		9,999		10,500	90.9	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	839		840		840		840		840		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)
	(内)投資的経費等	千円	0		0		0		0		0		
	(内)委託費	千円	0		0		0		0		0		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	人件費	千円	899		910		906		906		906		
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	899		910		906		906		906		
	非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +	千円	1,738		1,750		1,746		1,746		1,746		
	単位あたりコスト(-)÷	円	193,111		218,750		194,000		194,000		194,000		
	財源	千円	0		0		0		0		0		
受益者負担分	千円	0		0		0		0		0			
国・都等からの支出金	千円	0		0		0		0		0			
特定財源計 +	千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -	千円	1,738		1,750		1,746		1,746		1,746			
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み	内 容						規模		単位	事業費(千円)			
	地域・家庭文庫に対する図書の貸与						9		館	840			
	その他 ()									0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	111.4	17年度予算執行率%	100.0
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	特になし					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	引き続き、文庫と区との相互理解に努めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当該事業開始当時は区立図書館が5館しかなく、地域・家庭文庫は図書館の補完的役割を果たしていた。区の14館構想に基づき図書館整備が進んだ現在では、当初20以上あった文庫が、9文庫へと減少している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	各文庫からは、事業継続等の要望がある。				
	今後の予測	図書館の補完的役割は終わったが、子ども読書活動推進計画に基づく地域における読書活動の推進の観点から、一定の支援を行っていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 未整備地域図書館の建設が進んでいる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 事業費は図書を貸与するための、図書購入費である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 各文庫に対する支援としての事業が図書を貸与することであるため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 現在各文庫の希望図書はほぼ新規に購入し、貸与しているが、中央図書館が所蔵する団体貸出用の本を利用する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 文庫活動は主宰者の考えで行われているため。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今年度は地域家庭文庫育成審査会を廃止し、新たに文庫相互及び文庫と杉並区との意思疎通を図るため、意見交換会を開催する予定である。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 文庫数の変化が見込めないため。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営の調査研究・司書養成				整理番号	854	枝番号		
担当部課名	中央図書館	コード	620131	連絡先電話番号	4715	昨年度整理番号	849			
係名	管理係	上位施策名				No				
予算事業名	図書館運営管理	コード	82360	図書館サービスの充実				63		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法第14条 (3) 杉並区立図書館条例、同運営規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	司書資格の取得を希望する職員			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動指標名(式)	(1) 司書、司書補養成者数 (2)			資格取得を希望する職員で適正と認められた者に司書・司書補講習を受講させ、資格を取得させると共に、利用者の調査・研究活動の手助けや、地域課題解決の支援を行なえる専門的知識や技術を備えた職員にする。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 司書率(司書・司書補 ÷ 正規職員数) (2)					
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
				計画		実績				
指標	活動指標(1)	人	4	4	4	4	4	4	0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	43.8	40.9	39.5	39.7	31.6	50.0	79.4	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	479	491	609	585	558	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0			
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.50 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00			
	人件費	千円	22,485	10,920	10,872	906	906			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0			
	非常勤職員分	千円	22,485	10,920	10,872	906	906			
	総事業費 + +	千円	22,964	11,411	11,481	1,491	1,464			
	単位あたりコスト(-)÷	円	5,741,000	2,852,750	2,870,250	372,750	366,000			
	財源	千円	0	0	0	0	0			
受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	22,964	11,411	11,481	1,491	1,464				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)	
	負担金(受講料)						4	人	491	
	テキスト代						4	人	43	
	調査研究会費						2	団体	51	
	その他 ()								0	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	96.1
		司書養成に係る受講料等経費については、司書及び司書補の別で異なるため、17年度は、司書3名、司書補1名					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス業務の研究を重ねるとともに、司書の質向上のためOJTを行い、図書館サービス向上を図っている。 ・平成18年度からは、中央図書館の窓口業務も委託化し、成田図書館、方南図書館と合わせ3館で窓口業務の委託化が行われているが、すべて司書率が50%を超えている。 					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	図書館の専門的知識を有する職員配置割合の目標を40%と設定し、毎年度司書養成を行ってきた結果、司書率40%前後を確保してきている。また、17年度から実施した民間への図書館業務委託、19年度から予定されている地域図書館への指定管理者導入により、司書資格を有する区職員の配置や、司書養成の見直しが必要となってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	図書資料に精通した職員の質の向上を望まれている。					
	今後の予測	地域図書館への指定管理者導入に伴い、区職員が大幅に減少するため、年度の司書養成対象職員数も減少すると予測できるが、一方で指定管理者等民間職員も含めた司書の技量アップ研修を事業として位置づけ、杉並区立図書館司書全体を高いレベルに引き上げるため育成を図る必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:専門的知識、技術を備えた司書の育成、配置は利用者にとって心強い支援であり、図書館にとっても様々な事業の企画立案者となってサービス全体の充実が図られる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 事業目的が司書の育成であることから、現行の司書資格取得だけでなく、資格取得後のスキルアップを図ることで成果の向上が図られる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 図書館サービスの質を向上させるため、職務の一環として行っている事業であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容)	理由または具体的内容: 図書館事業の民間委託により、資格取得対象者の減少が見込める。					
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
協働等点検	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題					
	(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定管理者導入の完了時期により、多少のズレは生じるが、平成22年度以降については、司書資格取得のための大学派遣は1名程度とし、委託館を含めた既有資格者の知識、技術の向上を図るため、大学教授等を講師とした研修を司書養成事業として実施する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 指定管理者導入に伴う、司書養成に対する職員のモチベーションの低下が懸念される。 公立図書館としてのレファレンス強化をはじめとしたサービスコンテンツの充実を担う司書としての質の向上を図る。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 指定管理者導入の動向を踏まえ、将来的には縮減の方向にあるが、それまでの間は区立図書館として司書率40%の目標を堅持する。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ブックスタート事業				整理番号	855		枝番号		
担当部課名	中央図書館			コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	850	
係名 企画サービス担当(児童サービス担当)					上位施策名					No	
予算事業名 図書館運営管理					コード	82360		図書館サービスの充実			63
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律						
	4ヶ月児健診受診者(保護者)				(2) 杉並区子ども読書活動推進計画						
					(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
区内5カ所の保健センターで行われる4ヶ月児健診会場で、保護者にブックスタートパック(絵本2冊、図書館案内など)を手渡ししながらブックスタートのメッセージを伝える。				保護者と赤ちゃんが絵本に触れる機会を増やし、絵本を介して触れ合う温かい時間を提供することにより、安定した気持ちで子育てができるよう支援する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) ブックスタートパック配布数				(1) ブックスタートパック配布率							
(2) ボランティア登録数				(2) ボランティア活動回数							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画		実績					
指標	活動指標(1)	セット	3,441	3,532	3,700		3,258		3,700	3,500	93.1
	活動指標(2)	件	26	22	30		30		45	50	60.0
	成果指標(1)	%	97	97	100		95		95	96	99.0
	成果指標(2)	人	107	256	300		301		400	500	60.2
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,579	6,401	7,306		5,738		7,295	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.90 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.20 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	26,083	2,730	2,718		2,718		1,812	
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0		0	
	総事業費 + +	千円	32,662	9,131	10,024		8,456		9,107		
	単位あたりコスト(-)÷	円	9,492	2,585	2,709		2,595		2,461		
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	32,662	9,131	10,024		8,456		9,107		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)	
	ブックスタートボランティア謝礼(パック配布・詰め)							301	回	332	
	ブックスタートパック(絵本2冊、コットンパック等)購入							3,900	セット	5,199	
	その他 (印刷用経費等)									207	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	88.1	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	78.5
		実績による残					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年4月から、職員が中心となって行っていたブックスタートパックの配布・パック詰め作業を公募によるボランティアが中心となって行うようにした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	子育て支援の関連部署との打合せ会議、職員等の研修を実施し、開始当初に比べ、各部署との連携ができた。図書館では、乳幼児連れの来館、乳幼児のお話会の参加が増えてきた。18年度から広報等でのボランティアを公募した。約50名のボランティアを中心に5カ所の保健センターでのパック配布を行った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	よい企画なので継続してほしい。地域の関心が、子どもと若い親に向けられるきっかけになっている。パックを受取り、事業の主旨を聞いた時、区が自分たちの子育てを見守ってくれていてうれしいと実感した。					
	今後の予測	ブックスタートについて、対象者以外の一般への理解の広がりに伴い、区の取組みへの期待が高まっている。公募ボランティア(子育てが一段落した区民)の定着を図ることにより、事業に対する区民の理解が進む。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の子育て支援事業にとって、象徴的な意味を持っており、全国に先駆けて試行した事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ボランティアと職員の意識を高めるとともに質的な向上を図るため、研修、打合せなど行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の目標を達成するため、安定した事業展開が必要である。受益者負担の余地はあるが、対象者からの多様な要望が出る可能性が高くなり、有償とすると事業そのものが成り立たなくなる恐れがある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: コストを下げると提供するパックの質が低下する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 NPOブックスタートの協力により、ボランティアの人材育成のための研修や絵本などの購入を行っている。パック配布・パック詰めに関しては、公募によるボランティアで行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 子育て支援の一環として、どのような効果をもたらしているか把握するため、第2回1歳6ヶ月児アンケートを実施し、今後の事業に活かしていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 子どもの出生率が低下しているため						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館拠点サービス事業				整理番号	856		枝番号			
担当部課名	中央図書館			コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	851		
係名	協働推進担当			上位施策名				No				
予算事業名	図書館運営管理			コード	82360		図書館サービスの充実				63	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			10 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 杉並区立図書館運営規則								
	図書館未整備地域の住民			(2) 杉並区ふれあい図書室運営要綱								
	図書館未整備地域の住民			(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
区内の図書館未整備地域において、区立児童館を利用し、「ふれあい図書室」を2所(馬橋・善福寺)開設する。運営に関してはボランティアと協働し、毎日曜日に図書の貸出・返却等を行う。			図書館未整備地域の住民に図書館サービスを提供する。									
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 年間開催日数			(1) 年間利用者数									
(2)			(2) 年間貸出冊数									
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画		実績						
指標	活動指標(1)	日	146	149	125		124		104	0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	4,638	5,315	4,000		3,443		3,000	0		
	成果指標(2)	冊	15,587	17,375	13,000		12,200		10,000	0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,360	632	1,292		464		613	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) ・平成17年11月3日の方南図書館開館により、平成17年9月24日をもって方南ふれあい図書室は閉室した。 ・(仮称)西荻地域図書館が平成20年1月開館(予定)すると、善福寺ふれあい図書室は閉館(予定)。 ・高円寺地域図書館が平成22年度までには開館予定のため、ふれあい図書室は全て廃止する。		
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0		0		0			
	(内)委託費	千円	0	0	0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.15 0.00	0.55 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00			
	人件費	千円	1,349	5,005	2,718		2,718		2,718			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0		0		0			
	非常勤職員分	千円	0	0	0		0		0			
	総事業費 + +	千円	2,709	5,637	4,010		3,182		3,331			
	単位あたりコスト(-)÷	円	18,555	37,832	32,080		25,661		32,029			
	財源	千円	0	0	0		0		0			
受益者負担分	千円	0	0	0		0		0				
国・都等からの支出金	千円	0	0	0		0		0				
特定財源計 +	千円	0	0	0		0		0				
差引:一般財源 -	千円	2,709	5,637	4,010		3,182		3,331				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み	内 容				規模				単位	事業費(千円)		
	ボランティアによる窓口業務(ボランティア謝礼、電話代等)				3				室	464		
	その他 ()									0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	99.2	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	35.9
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	特になし					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	方南図書館開設に伴い、方南ふれあい図書室を閉室した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	図書室開設当初は職員2名で窓口業務を行っていたが、平成16年4月からはボランティア2名で行っている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。				
	今後の予測	図書館未整備地域の住民に図書館サービスを提供するという目的で事業を立ち上げたため、平成22年度までには図書館14館の整備が終わると、廃止される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 少ない開室回数、短い開室時間ではあるが、未整備地域の住民にとっては、利便性の点で貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 引き続き周辺地域へのPRに努め、利用者増を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 図書館法17条による「無料の原則」から困難である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 利用者数が増えれば、貸出1件あたりのコストは下がる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 基本的には、窓口業務はボランティアが行い、その前後の本や機材の搬送は職員が行っている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに図書館の14館構想が実現すれば、図書館未整備地域が解消し、事業は廃止される。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 (仮称)西荻地域図書館開館予定により、善福寺ふれあい図書室閉室予定のため。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども読書活動推進				整理番号	857		枝番号					
担当部課名		中央図書館		コード	620131		連絡先電話番号	4517		昨年度整理番号	852			
係名					企画サービス担当(児童サービス担当)					上位施策名		No		
予算事業名					図書館運営管理					コード		82360		
					図書館サービスの充実							63		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		16年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律 (2) 杉並区子ども読書活動推進計画 (3) 文字・活字文化振興法							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区子ども読書推進計画に基づき、子どもたちが、読書に親しむ機会となる事業(講演会、子ども会、本の展示など)や、保護者や子どもたちへの読書啓発事業を行う。									
	活動目標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 講演・講習会開催回数 (2)									
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%				
					計画	実績	計画		22年度					
指標	活動指標(1)		回		22	22	20	20		25	80.0			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		人		1,556	1,600	2,127	2,150		2,300	92.5			
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		5,207	5,090	4,447	5,767		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等		千円		0	0	0	0						
	(内)委託費		千円		0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)		人		1.80	0.00	1.40	0.00	1.80			0.00	1.50	0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	16,380	12,684	16,308	13,590					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	21,587	17,774	20,755	19,357						
	単位あたりコスト(-)÷		円		981,227	807,909	1,037,750	967,850						
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0	0					
		国・都等からの支出金		千円		0	0	0	0					
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	0	21,587	17,774	20,755	19,357							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0							
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)					
			児童用図書購入・装備				1,600	冊	2,212					
			子ども読書活動推進委員会開催				4	回	216					
			「本の帯」アイデア賞作品募集				776	点	970					
			アンネのばら小さな物語集作品募集				25	点	487					
			その他 (読書月間啓発用ポスター等消耗品)						562					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	90.9	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	87.4
		実績による残					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		中・高校生世代の創作活動を応援し、表現の場を提供するため、アンネのばら小さな物語集の作品を募集した。 子どもたちにとって、親しみやすい事業として、誰でも参加できる「本の帯」アイデア賞を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	本の帯アイデア賞に応募する児童・生徒が増加した。19校(6校)776点(210点)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	昨年同様、「本の帯アイデア賞」受賞作品の展示を本庁ロビーで行った際、企画に対し「良い」「面白い」「継続してほしい」などの声が寄せられた。中・高校生創作活動の一環として募集したアンネのばら小さな物語集を編集し本にしたところ評価を得た。					
	今後の予測	小・中学校の職場体験、調べ学習などに対する図書館のサポートがますます求められていく。保護者や地域の人々が読み聞かせを行うための方法を学びたいという要望が増えていく。講座、企画展、コンクール・賞への関心が集まっていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 国の法律の制度をうけて策定した計画であり、区民の子どもの読書への関心が大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 区の専門的職員(教員・医師・保健師・児童館職員・保育士など)や地域の人材を講師として活用することにより講座・講演の実施回数が増やせる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業対象が児童であるため、事業内容にそぐわない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在の事業費のまま、企画内容(質・量)を充実する。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	視覚に障害のある子どもなどが使える、布(触る)絵本は、市販のものが少ないため、製作に係わるボランティアを育成していく。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 子どもの読書環境の一層の向上を図るため、平成15年11月に策定した子ども読書活動推進計画を平成18年度に改定する。 子どもたちにとって親しみやすい事業にするため、企画・運営に中・高校生の参加を促す。 また、区民が企画段階から参加する講座を増やす。さらに、講座の講師には、地域に住む学識経験者などを積極的に活用	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	学校等への読書活動支援を推進するため、区内在住の作家・文化人・大学ネットワークの協力を得て講演会・企画展などの充実を図る。また、「調べる」学習賞コンクールや、6月の「杉並区子ども読書月間」事業を推進する。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		NPO・ボランティア等との協働				整理番号	858		枝番号			
担当部課名	中央図書館			コード	620131	連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	853		
係名 協働推進担当					上位施策名					No		
予算事業名 図書館運営管理					コード	82360		図書館サービスの充実			63	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				16 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 図書館法							
	NPO、ボランティア団体、民間企業等				(2) 地方自治法							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 図書館の運営に民間活力を導入する。				(3)							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) NPO・ボランティア・民間企業等に運営を委ねた図書館数				(1) NPO・ボランティア・民間企業等に運営を委ねた図書館数								
(2)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度				18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画		実績						
指標	活動指標(1)	館	0	0	2		2		3	14	14.3	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	館	0	0	2		2		3	14	14.3	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	158	54,600		51,005		132,674	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0		0		0			
	(内)委託費	千円	0	0	54,600		50,909		132,674			
	職員数(常勤 非常勤)	人		0.97 0.00	0.80 2.00	0.80 1.00	0.80 2.00					
	人件費	千円	0	8,827	7,248		7,248		7,248			
	非常勤職員分	千円	0	0	5,780		2,890		5,780			
	総事業費 + +	千円	0	8,985	67,628		61,143		145,702			
	単位あたりコスト(-)÷	円			33,814,000		30,571,500		48,567,333			
	財源	千円	0	0								
	国・都等からの支出金	千円	0	0								
特定財源計 +	千円	0	0	0		0		0				
差引:一般財源 -	千円	0	8,985	67,628		61,143		145,702				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み	内 容			規模		単位	事業費(千円)					
	成田図書館運営委託(委託等)			1		館	32,550					
	方南図書館運営委託(委託等)			1		館	18,359					
	中央図書館委託法人選定委員会謝礼			3		人	96					
	その他 ()						0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	93.4
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	特になし					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	成田図書館、方南図書館の運営業務委託を開始するとともに、中央図書館の運営業務委託の準備を行った。 地域図書館運営に指定管理者制度を導入する方針を定め、第2次杉並区協働等推進計画に盛り込んだ。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	第二次杉並区協働等推進計画が定められ、地域図書館運営に指定管理者制度を活用することになった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	図書館運営業務に民間活力を導入したことにより、図書館サービスが充実した。				
	今後の予測	中央図書館の管理部門を除き、図書館運営を民間活力に委ねる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 民間活力の導入により費用対効果があがり、充実した図書館運営を実現することができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容：				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 受託者の努力が評価につながる仕組づくり				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 図書館法に規定する図書館無料の原則のため				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容： 運営費の多くは人件費が占めるため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 民間の視点による運営で、図書館サービスが活性化された。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成21年度までに、中央図書館の管理部門を除き、図書館運営に民間活力を導入する。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	指定管理者図書館(委託館)が3館から5館に増える。				